

茅野市 バケ岳通信

総合博物館 —

大盛況！やったね

元旦・博物館まつり !!



入口くぐってさあお祭だ～！



お正月ムードを盛り上げた琴の演奏



わくわく抽選会



頂上でのすばらしい木やり



小泉山からのご来光

博物館初の試みとして、また小泉山体験の森創造委員会との共催で平成16年1月1日（木）に“元旦・博物館まつり !!”を開催しました。予想を上回る多くの方々から第1部・2部合わせて約600人参加していただき、大変ありがとうございました。

第1部では地域の方々約200人が小泉山に登りました。山頂ではご来光を拝み、木やりを鳴き、甘酒や御神酒を振る舞い、記念カードの配布等を行いました。空には気球も浮かび、寒いけれど晴ればれとした良いお天気の中で登山を楽しみました。第2部では総合博物館で抽選会やすいとんの振る舞い、尺八・詩吟や琴の演奏会、蓄音機のコンサートなど無料で入館していただきました。ボランティアさんによるすいとんは大きな釜で煮焚きし、あたりにはいい匂いが漂い大変おいしかったです。来年も元旦・博物館まつり !! を行いますのでぜひご参加ください。

ごみっさわ

芥沢遺跡の発掘調査から

15年度のほ場整備事業に伴う発掘調査は茅野市金沢大沢の赤石山系支脈の大沢山山麓を流れる大沢川と中野沢川に形作られた標高が884m～894mの丘陵上にある芥沢遺跡10,000m²を対象に実施しています。武田信玄により開発されたと伝えられている金鶏金山の裾に広がる本年度調査区から検出した遺構は竪穴住居址、集石炉、落し穴を含む土坑などが見つかりました。芥沢遺跡は大正時代に「諏訪史」第一巻に記載がされており、古くから知られている遺跡です。

昭和28年に諏訪考古学研究所の藤森栄一氏、戸沢充則氏らによって、道路沿いのごく狭い範囲の発掘が試みられ縄文時代早期末から前期初頭の住居址の一部を確認されています。平成元年には諏訪南インター林間工業団地地下水道施設用地に係り小規模な発掘調査を実施し、前回発掘と同時期の土器が見つかっています。狭い範囲の調査ではありましたがこれにより芥沢遺跡における同期土器群の編年的な位置や系統関係の内容充実が図られています。またこの時、中世以降の遺物も出土しています。

1992年（平成4年）金沢住宅団地（現在の旭ヶ丘）宅地造成に伴い芥沢遺跡と中野沢川を挟み対向する天狗山遺跡の発掘調査を実施したところ、断続的に縄文時代早期から平安時代末期までの居住域が確認できました。

平成14年ほ場整備事業に伴い発掘調査を実施している柏木遺跡は芥沢遺跡の南西に400m離れた大沢山の麓に位置しており、検出した遺構から芥沢遺跡、天狗山遺跡と極めて深い関係を持つ生産域の遺跡として捉えることができました。

芥沢遺跡の本年度の調査では住居址20軒、落し穴を含む土坑150基のほか糸魚川～静岡構造線の一部も見つかっています。遺跡の全容解明には次年度も発掘調査が続きますのでそれ以降になりますが、本年度調査区内に居住域の住居址と生産域である落し穴が併存することから時期によりムラが造られ、また別の時期には狩り場として使われたことが判明してきています。芥沢遺跡に隣接している天狗山遺跡からは本遺跡を主構成している縄文時代早期末～前期前半にかけてのムラと落し穴が同様に見つかっており、遺構の立地から居住域と生産域が時期により交互に入れ替わった可能性もあります。これらの周辺遺跡との関係を含めて次年度以降の調査成果と併せて分析することにより芥沢遺跡の性格解明が進むと思います。



住居址の遺物出土状況



集石炉の検出状況



落し穴の発掘状況

尖石遺跡の試掘調査

尖石遺跡では、史跡整備のための土地の買上が終った平成2年度から少しづつ試掘調査を行っています。試掘調査は、2m四方の穴（グリッド）を所々規則的に掘っていき、住居址やお墓などの縄文時代の人々の痕跡がどこにあって、その時期がいつ頃のものかを探っていくものです。

これまで、宮坂英式氏が調査を行った尖石遺跡で発見した炉址54基と、住居址34軒、与助尾根遺跡で調査した住居址28軒、考古館建設の際に教育委員会が調査をした与助尾根南遺跡の住居址9軒、竜神平下遺跡の住居址1軒の他、試掘調査で92軒の住居址が発見できました。すべて合わせると、218軒の住居址が尖石遺跡周辺で発見されていることになります。けれども、まだまだ調査していない箇所もあり、また、遺跡の範囲を確認することを目的とした調査では密度を荒く調査したところもあるので、300軒近い住居址があると考えられています。



豊穴群

平成15年度の調査

今年度の調査は、尖石縄文考古館とは道を挟んで南側の広場を調査しました。

ここは、宮坂氏が調査を行い、豊穴群や列石を発見しているところです。これまでの試掘調査では、住居址がどこに分布しているかを重点的に行ってきたこともあって、大きな集落には必ずと言ってよいほど見られる中央広場や墓地などの施設が見つかっていませんでした。宮坂氏の調査した豊穴群や列石がこの中央広場にあたるのではないかと考え、調査を始めました。

さらに、青森県の三内丸山遺跡や、茅野市湖東の中ツ原遺跡などで復元されているような、大型の建物址や柱穴列の検出も期待されたことから、豊穴群が集中したところを重点的に拡張して、面で調査を行うことにしました。その結果、宮坂氏の発見・調査した列石がそのまま姿を現したほか、豊穴を多数発見することができました。その豊穴の中には、柱が立っていた痕跡を示すものもいくつかあります。こうした柱穴の組み合わせについての検討はこれからですが、尖石遺跡も他の大きな遺跡と同じような集落の配置を持っていたことが確認できました。また、未発掘の住居址1軒も調査することができました。



列石



住居址

絵画教室の魅力

美術館主催の絵画教室は、開館以来23年間、毎年開催されてきました。技術の向上とともに、描く楽しさを学び、交流の輪を広げることができるのが、この講座の魅力といえるでしょう。

全10回（年によって変更あり）の講座を通して、受講生は、講師の先生のアドバイスを受けながら、さまざまな絵を描いていきます。主に身の回りにある静物を題材としながら、「描くこと」の基礎を学んでいき、まとめとして野外スケッチ、作品合評会を行うこともあります。絵画教室に参加し、数多くの絵を描くうちに、「絵を描くおもしろさを発見した」、「描くことを止められなくなった」などの感想を持たれる方も少なくありません。

作品を鑑賞するだけでなく、自ら制作してみることで、これまで気付かなかった絵画の魅力や奥深さを、きっと発見できることでしょう。

これまでに開講された絵画教室講座のなかには、講座終了後、受講生有志が絵画サークルを結成し、学習を続けている例がいくつかあります。

■ 絵画教室を機に結成された主なサークル ■

◆「火曜会」・昭和59年度油絵入門講座（講師：篠原昭登先生）が縁で発足。毎月第二火曜日を活動日とし、「火曜会洋画展」を17回開催。

◆「水無月の会」・平成5、6年度スケッチ入門講座（講師：篠原昭登先生）受講生有志による。月1回の合評会を続け、水彩画・油絵の作品展を10回開催。

◆「あじさいの会」「葉月の会」「秋桜の会」・それぞれ、平成11、12、13年度水彩画講座（講師：岩波昭雄先生）受講生有志が結成。合同作品展「美風会水彩画展」を2回開催。

平成16年度も、5月中旬から全10回の絵画教室（講師：宮澤英光先生）を開催する予定です。

—守矢史料館—

中世の茶 —守矢文書と考古資料から語る歴史—

本館では、平成15年7月26日（土）から9月15日（月）まで企画展「守矢文書と中世の人々の暮らし」を開催しました。この企画展では、古文書と考古資料を使って、中世の人々の暮らしを展示しました。展示資料の中で、古文書と考古資料に共通して「茶」に関する資料がありました。考古資料では千沢城下町遺跡・荒玉社周辺遺跡では、かなり多くの天目茶碗や茶道具が出土し、前宮周辺では、さかんに喫茶の風習があったことがわかりました。また、ハケ岳西南麓でも、天目茶碗や茶臼が少量ではありますが出土し、様々な場所で茶がたしなまれていたことがわかりました。

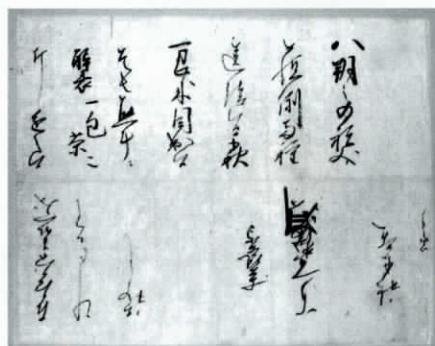
守矢文書にも、茶に関する記述が見られます。『御符礼書』には、寛正7年（1466）と文明3年（1471）に飯嶋為宗が、役銭の他に茶1斤を上社に上納したことが記されています。

茶は、中国に留学した僧侶が、日本にもたらしたものといわれています。特に、禅宗の儀式には欠かすことができないもので、禅宗寺院を中心に栽培さ

れていたと言われています。

飯島町には飯嶋氏が檀那である西岸寺があったため、禅宗寺院ルートで手に入れたのではないかと思われます。

室町時代には、茶は賭け事に使われていて、これを闘茶といいます。干沢城下町遺跡では、闘茶に使われた闘茶札が出土し、闘茶が行われていたことが考えられます。干沢城下町遺跡は、臨済宗である安国寺の一部であると考えられるところから、喫茶がかなり行われた、当時の先進文化の中心であったといえましょう。



諏方頼満書状

茅野市の博物館・文化財課だより ハケ岳通信 No.22 発行年月日 平成16年3月29日

編集・発行 茅野市ハケ岳総合博物館	〒391-0213	茅野市豊平6983番地	TEL (0266) 73-0300
文化財課	〒391-8501	茅野市塚原2丁目6番1号	TEL (0266) 72-2101
茅野市尖石繩文考古館	〒391-0213	茅野市豊平4734-132	TEL (0266) 76-2270
茅野市美術館	〒391-0011	茅野市玉川1500番地	TEL (0266) 73-5440
茅野市神長官守矢史料館	〒391-0013	茅野市宮川1389番地の1	TEL (0266) 73-7567